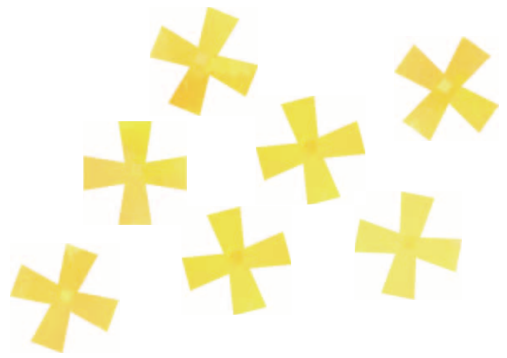


# 菜の花

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER



No. **62**  
令和7年9月



当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。



たくさんの黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということを表現しています。

緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。

## contents

- P.2 指宿医療フィロソフィ
- P.3-4 職員合同宿泊研修会
- P.5 令和7年度 指宿南九州消防組合との事後検証会を終えて
- P.6 特定行為研修終了看護師のご紹介
- P.7 指宿 菜の花通信
- P.8 外来診療担当医一覧

## 理念

患者さまにやさしく、

地域に信頼される

良質な医療の提供をめざします。

## 運営方針

- 1 がん診療の治療の向上をめざします。
- 2 成育医療の充実をめざします。
- 3 救急医療の充実をめざします。
- 4 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療をめざします。



# 指宿医療 フィロソフィ



院長  
鹿島 克郎

5月23日・24日、第5回、職員合同宿泊研修を休暇村指宿で開催し総数58名の職員が参加しました。池田宜永都城市長に“都城フィロソフィ(哲学)”を熱くご講演して頂き、多くの職員の内なるエネルギーに火が付いたことでしょう。

都城市は、ふるさと納税寄付総額日本一に輝き、マイナンバーカード交付率でも全国第一位になった全国市町村の中でも有数の活気ある市です。4期目を迎えた池田市長がどのようにして市職員を教育し育成してきたかを伺い知ることができました。

都城フィロソフィは具体的に30項目あり、毎日1項目を熟読すると1カ月で完結するように工夫され、職員協働で4年をかけてポケット手帳として完成させたそうです。

また、あいさつが全ての基本、あいさつができない人は仕事ができない為、市職員に採用しないと断言されていました。

ポケット手帳の一部を紹介しますと、素晴らしい人生を送るために正しい考え方を持つ、熱意をもって地道に努力を続ける、自ら燃え真面目に一生懸命仕事に打ち込む、本音でぶつかる、ベクトルを合わせチームで取り組む、笑顔で仕事に取り組む、結果にこだわる、楽観的に構想し悲観的に計画し楽観的に実行する。等々溢れるエネルギーを感じました。

翌朝、“指宿医療センターフィロソフィ”について4班でグループワークを行いました。

病院理念“患者様にやさしく地域に信頼される良質な医療の提供を目指します”をいかにして実現するかについて活発な議論が噴出しました。病院事務管理棟の2階廊下に発表ポスターをしばらく掲載いたしました。

議論の合間に私が考えたフィロソフィを紹介すると“患者さんの気持ちに寄り添い、患者さんのこれまでの人生を尊重し、ご家族の目線に立ち、謙虚にしておごらず、損得ではなく人間として正しいことを貫く、そして良質な医療を提供するために常に自己を高め、たゆまぬ努力をする”

全職員が同じベクトルで取り組んだら、都城市の様にもっと活気があり素晴らしい指宿医療センターに成長することでしょう。

# 職員合同宿泊研修会



## 職員合同宿泊研修会に参加して

薬剤科 製剤主任 盛 麻美

4月より指宿医療センターに異動となり、この病院をより深く知りたいという思いから職員合同宿泊研修に参加いたしました。初日は池田都城市長による「都城フィロソフィ」の講演でした。「フィロソフィ」という言葉は私にとっては初めての言葉でありましたが、『人間力』＝『当たり前を当たり前』という言葉に、自分自身の姿勢を見つめ直す多くの気付きを得ることができました。1時間20分の講演はあっという間に感じるほど充実した時間でした。

2日目は、他職種のスタッフと共に「指宿医療センターフィロソフィを考える」というテーマで行われたグループワーク。職種が違いによる新たな視点に触れると同時に、「患者さんのために」という共通の想いを再認識できました。

この研修を通じて、職種を超えた連携の大切さと、地域に根ざした医療の意義を改めて実感しました。今後も頼もしい仲間とともに、患者さんやご家族の笑顔につながる医療を目指して努力していきたいと思えます。



## 職員合同宿泊研修会に参加して

リハビリテーション科 理学療法士 河原 翔英

今回の研修では「都城フィロソフィ」という都城市で行われている人材育成指針について講義がありました。講義を通して直接病院の医療発展につながることは少なかったですが間接的に医療発展につながる事が多く有意義な時間でした。まだ自分は働き始めなため初心を大事にしていますが、これからも初心を忘れることなく傾聴、共感、謙虚な姿勢を持ち続けていくこと、自分のためだが患者様のために努力を積み重ねていき質の高い医療を提供できるように頑張っていきたいと思えます。

また食事やグループワークでは他職種の方々との交流機会がありました。自分は積極的に人と話すことが少ないですが、今回の交流機会ですぐの業務で話す機会がない方たちと話すことが出来ました。入職したばかりで慣れないことが多かったですが今回の研修を通し落ち着くことができました。1年目の特権を活かして精進していきます。



## 職員合同宿泊研修に参加して

臨床工学室 臨床工学技士 江藤 唯翔

指宿医療センターに来て初めての職員合同宿泊研修に参加させていただき、2日間の研修はとても有意義な時間だったと思えます。宮崎県都城市長の池田宜永さんに講師として来ていただき「都城フィロソフィ」をテーマにご講演していただきました。指宿医療センターの一職員ということをおこの講演で改めて自覚させられ、まずは日々の業務も大事ですが挨拶など自分ができることをしていき、そのなかで失敗を恐れずに何事にも挑戦を続けていきたいと思えました。

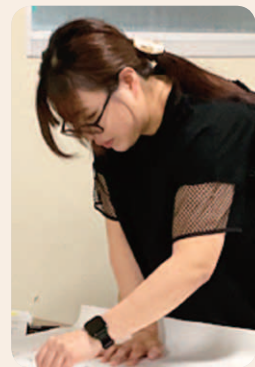
また、他職種とのグループワークでは、様々な視点からの意見が聞かれました。先輩方が率先して意見をまとめていただき、新人の視点からの意見も取り入れてくださったので、気軽に話すことができ、積極的に参加することができました。私自身の成長が自分のため、患者様のため、そして病院に貢献できるように日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。



## 職員合同宿泊研修に参加して

2病棟 看護師長 江内谷 彩佳

今回の研修では、講師として池田宜永都城市長より「都城フィロソフィ」について講演していただきました。印象に残ったフィロソフィは、「自ら燃える」でした。人間のタイプにも、熱意と情熱をもって自ら燃え上がる自燃性の人間、自燃性の人間が近くにいると燃える可燃性の人間、自燃性の人間が近くにいっても燃えない不燃性の人間がいること、自ら燃えるためには、自分の仕事や人生を好きになるとともに、大きな夢や明確な目標を持つことが必要であることを学びました。私は現在、地域医療の重要性を実感しながら、やりがいをもって日々看護師長として管理を行っています。自燃性の人間になれるように熱意と情熱をもって、働いていきたいと改めて思いました。2日目のグループワークでは、多職種で意見交換を行い、指宿医療センターフィロソフィを考えました。職種は違っても「患者・家族のために」「地域住民のために」との思いは一致していることを実感することができました。職員で協働しながら今回学んだことを患者さんや家族に実践していきたいです。



## 指宿医療のフィロソフィ

事務部 算定・病歴係 井上 雄乃祐

今回の宿泊研修では「指宿医療センターフィロソフィ（価値観・信念）」について多職種で意見交換を行い、各グループ毎にそれぞれの考えを発表しました。

私のグループでは「患者のため、職員のため、病院のため、自分自身のため」と4つのテーマに分けて、意見を出すことで、一人では思いつかない多くのフィロソフィを様々な職種の視点で考えることができました。

グループワークを通して感じたことは、普段何気なく行う日常業務でも、自分の中で目標を設定して取り組むことで、新しい発見や成長があり、職員それぞれ自分の中にフィロソフィを持っているからこそ病院の質やサービスが向上し、患者に寄り添ったよりよい医療を提供できる病院に日々成長できているのだと感じました。

私も今回の研修で学んだことを活かし、普段の業務でもっとより良くできる所はないか考えながら、指宿の医療に貢献していきたいと思います。



# 令和7年度 指宿南九州消防組合との事後検証会を終えて



経営企画係長 橋口 聡史

当院では、地域の救急隊員の技術向上と地域医療連携向上のため、年に2回、指宿南九州消防組合との間で救急搬送症例の事後検証会を実施しております。

本年度初めての検証会を8月29日(金)に当院地域医療研修センターにて開催いたしました。今回は、救急隊員より「水路転落による熱傷事案」、「HIVと救急活動時の注意点」に関する珍しい事例の発表と、当職より「心電図伝送システムの運用について」について発表致しました。

救急隊員の発表事例は温泉地指宿ならではの他所では経験することのない事例であり、その事後検証は病院・救急隊双方が今後の対応にも活かせる事例でありました。また当職が発表した内容は、9月より指宿南九州消防組合と合同で実施する取り組みで、救急搬送中に心電図データを病院へ転送し、搬送中でも医師の意見を聞きながら対処することができるというもので当院の運用方針について救急隊の皆さんに説明を行いました。

年々、発表内容がとても充実してきてとても実りある検証会となってきていると感じています。さらに、9月からは救急隊と進めてきた心電図データの相互確認も始まり、より連携が深まると確信しています。

この検証会を通して指宿医療センターと指宿南九州消防組合が一致団結して、南薩地域の医療を支えていきたいという思いが高まりました。

ご参加ご協力いただいた全ての皆様に感謝致します！





# 特定行為研修終了看護師のご紹介

教育担当看護師長 丸目 芳美



皆さんは看護師の特定行為研修制度をご存じですか？特定行為には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術が特に必要とされるものとして38行為があります。特定行為は診療の補助として、研修を受けた看護師が医師の指示を受けて手順書に沿って安全に行っています。

当院では、4月より外科術後病棟管理領域パッケージ、心嚢ドレーン管理関連の特定行為研修修了者の福里太輔看護師が勤務しています。釣りが趣味で真っ黒に日焼けしている姿からは中々想像出来ませんが、知識や経験も豊富でいつも落ち着いて丁寧に特定行為を実践しています。術後のドレーン抜去や気管カニューレの交換、直接動脈穿刺法による採血など患者さんの近くにいる看護師がより迅速に対応することで患者さんの苦痛の軽減に繋がりたいと、医師・看護師と連携し頑張っています。

特に末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）の挿入は、点滴の針を刺す血管がない患者さんや食事がとれず点滴で栄養管理が必要な患者さんに看護師にてPICC挿入が行えることで医師の負担軽減を含めてとても役立っています。

PICC挿入に関しては、地域の医療機関に向けて、火曜日の午前中に外来でPICC挿入が行える体制をとることとしました。ホームページでも案内していますので必要な患者さんがいましたら一度ご相談下さい。

## 国立病院機構 指宿医療センター



### PICC(末梢静脈挿入型中心静脈カテーテル)外来挿入のご案内

当院では、他の病院入院中や施設、在宅で治療中の方で長期に点滴加療が必要な患者さまへ、火曜日の午前中に外来でPICC挿入ができる体制をとることとしました。

PICC(末梢留置型中心静脈カテーテル)とは、主に上腕にある少し大きな静脈より心臓に近い太い静脈にカテーテルを挿入することで、従来の中心静脈カテーテルと同様の点滴加療が可能です。通称「ピック」と呼ばれます。

食事がとれない方、点滴を刺す血管がない方、長期間点滴が必要な方に対して、今までは中心静脈カテーテルというものを挿入していましたが、挿入時の気胸や動脈穿刺など合併症も多く、長期挿入にて感染を起こしたりするなど長期使用するのは困難でありました。PICCは、上腕に点滴を留置しますので、挿入リスクが少なく、腕も自由に曲げられますし、感染管理がし易く、長期の留置、使用が可能です。カテーテルが閉塞しない限りは入れ替える必要がありませんので、何回も針を刺されることもがなく、逆血があればカテーテルからの採血も行うことができます。



#### 【PICC挿入の対象患者】

##### 良い適応となる方

- ・数日から長期の連続した点滴が必要な方
- ・点滴の針を刺す血管がない方
- ・食事がとれず点滴での栄養管理が必要な方(胃薬を希望されない方)

##### 適応とならない方

- ・腕が伸ばせない方(関節拘縮がある方は困難な場合があります)
- ・認知機能障害がある方(挿入時安静が困難な方、挿入しても自分で抜去される方)
- ・全身状態が著しく悪い方
- ・静脈が閉塞している方

#### 〈PICC挿入に関する問い合わせ先〉

指宿医療センター地域医療連携室までお問合せ下さい。  
循環器医師へ相談後、受診日を調整し、医師及び特定行為看護師にてPICC挿入対応致します。  
当日は、処置に同意頂ける患者さまご家族と病院及び施設職員の方の付き添いをお願いします。  
連絡先: TEL 0993-22-2231(内線260)



特定行為研修修了者 福里 太輔





## 田舎医者流儀 (256)・・・ハチのダンス

農園のバラが咲いた。ハチがどこからか飛んできて蜜を吸って帰って行く。次から次にハチが来て採蜜して帰って行く。「ここに花蜜があるよ」という情報が伝わっているのだろうか、多くのハチが飛んできて来て、帰って行く。

カール・フォン・フリッシュは、20年前に気づいていたミツバチの奇妙な現象の研究を大戦末期に始めた。フォン・フリッシュは、豊富な花蜜や花粉を見つけに戻った探索バチが、巣箱内の垂直な巣板の上で、何とも不思議な行動をとることに気づいていた。それはまるで「ダンス」のようだった。帰巢した探索バチが、ある決まったパターンの反復的な動きを数分間ほど続けると、巣箱内の他のハチが熱心にその「ダンサー」の動きに従った。フォン・フリッシュは1920年代にすでに、これらのダンスには、食糧源となる花に関する情報を伝える機能があるのではないかと考えていた。



1945年、戦争終結前後の数カ月間にフォン・フリッシュは、ミツバチのダンスに、探索バチが見つけた餌場の方向と距離を示す記号が含まれていることを発見した。空間座標軸を表現する昆虫の記号的コミュニケーションシステムという、この還暦間近の生物学者がついに成し遂げた発見に対し、やがてノーベル生理学・医学賞が授与されることになる。

このダンス言語の仕組みは、餌場からから蜜を持ち帰ったハチはまず、体を左右に震わせながら直進する(尻振り走行)。その後、左にぐるりと半円を描いて、元の位置に戻ってくると、最初の道筋に沿って再び尻振り走行を行ない、続いて、今度は右にぐるりと半円を描く。このパターンを何度も繰り返していると、巣箱内で仕事に就いていないハチたちが熱心に付き従うようになる。このようなダンスが始まってほどなく、新たにリクルートされた多数の採餌バチが、その情報をもとに餌場へと飛んでいく。

フォン・フリッシュは、巣箱の鉛直上方に対する尻振り走行の角度は、太陽の方位角(方向の水平成分、すなわち、仰角ではなく(コンパス方位)と、巣箱から餌場に向かって飛ぶ方向との角度に等しい事を見出した。たとえば、餌場が太陽の方位にある場合、ダンサーは、鉛直な巣板の真上に向かって尻振り走行する。餌場が太陽の方位よりも45度方向にある場合ダンサーは、鉛直な巣板の真上よりも45度右方向に向かって尻振り走行する。また、ターゲットとなる蜜や花粉が豊富な花畑までの距離は、尻振り走行の継続時間として記号化される。つまり、尻振り走行している時間が長いほど、巣箱から餌場までの距離は遠い。

巣箱内はたいてい暗いので、他のハチはそのダンスを視覚的に捉えることは不可能だが、同じ動きを何度も繰り返すダンサーに追従しながらその動きを感じとることによってそれに込められた暗号を読み取っている。フォロワーたちは、ダンスに参加しながら、示された位置情報を学び取ってそれを解読したのち、その情報を受け取った場所とはまったく異なった空間にあてはめているに違いない。実世界での空間的位置を伝えるために、このような記号化された情報(表象)を用いる生物は、(ヒトを除いて)他にはいない。

ハチは生き抜くために、餌場の情報をお互いに伝えあっている。ハチの持つ脳は小さいがすごく賢いことが分かってきている。すごいね!!

(ハチは心をもっている ラース・チットカ著 みすず書房)

指宿医療センターHP菜の花通信

<https://ibusuki.hosp.go.jp/topic/nanohana-tweet/>



# 外来診療担当医一覧

令和7年9月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備考
循環器内科	午前	鹿島	吉重	鹿島 水田	大井 井畑	鹿島 吉重	
総合診療内科	午前	大井 花田(血液内科)	田中	鎌田(血液内科)	花田	中村	
消化器内科	午前	豊留	(休診)	今村	豊留	若松	
肝臓内科	午前		大重		大重		
小児科	午前	荒武	田邊	田邊	関	田邊	午前診療：8時30分～11時 午後診療：14時～16時 予防接種 (毎週月曜・火曜・木曜) 受付14時(要予約) 一ヶ月検診 (月・木) 受付13時(要予約) 3～4・7～8・9～11ヶ月・1歳児健診(火曜) 受付13時45分(要予約)
	午後	外来	荒武	関	荒武	関	
		予防接種	田邊	関	田邊	関	
健診	関						
外科	午前	(手術日)	宮島 宮島	宮島 宮島	(手術日)	予約外来(手術日)	
泌尿器科	午前	栢木	(手術日)	栢木	栢木(再診のみ)	栢木	
腎臓内科	午前					外部医師	17番診察室にて診察します。10:00～(要予約) ※第1週～第4週金曜日のみ
産婦人科	午前	櫻井 堀ノ内	穂原 堀ノ内	(手術日)	櫻井 穂原	櫻井 堀ノ内・穂原	1ヶ月健診 (月・木曜日:要予約) 2週間健診 (月・火・木・金:要予約) 午後診療受付 (水・金曜日以外) 13時30分～15時(再診のみ) 母乳外来 (毎週火・木曜日) 母親学級 (毎月第2・3水曜日) 金曜の診療については、奇数週は堀ノ内、偶数週は穂原が診察を行います。
	午後	櫻井 堀ノ内	穂原 堀ノ内 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	櫻井 穂原 助産師 母乳外来	(手術日)	
眼科	午前	尾辻 大川	尾辻 大川	尾辻 大川	尾辻 大川	尾辻 大川	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。
	午後	(手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	木曜・金曜の午後は特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)
専門外来	午前	呼吸器内科	小児外科		脳神経外科		呼吸器内科 毎週月曜日 予約制 呼吸器外科 毎月第2・4木曜日(14時～16時) 予約制 小児循環器 毎週月・木(14時・15時) 要予約 ※毎週火は16時のみ要予約 小児外科 毎月第3火曜日(9時45分～14時30分) 要予約 もの忘れ外来 第2・第4水曜日(14時～16時) 要予約 脳神経外科 毎週木曜日(9時～11時・14時～15時30分) 心臓血管外科 毎月第1・3木曜日(14時～16時) 予約制
	午後	呼吸器内科 小児循環器	小児外科 小児循環器	もの忘れ 外来	小児循環器 呼吸器外科 脳神経外科 心臓血管外科		
内視鏡検査		今村 村松	豊留 留村松	豊留 留村松	藤井 井村松	赤豊 崎留	第2・第4木曜日 藤井
整形外科	午前			織田		織田	水曜日・金曜日 9時～17時 受付:(織田先生) 9時～11時・14時～15時30分 鹿大医師(水)・(金) 午後 受付:13時～15時00分
	午後			織田・鹿大医師		織田・鹿大医師	



## JRの場合

JR指宿枕崎線に乗車頂き、指宿駅で下車して下さい。  
指宿駅から山川行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」(約10分)で下車して下さい。  
当院の正面玄関前に停車します。

## バスの場合

JR鹿児島中央駅前(鹿児島市)から山川橋行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」で下車して下さい。当院の正面玄関前に停車します。

## 自動車の場合

鹿児島市からは、産業道路を進んで国道226号線を山川方面へ進んで下さい。  
指宿医療センターは国道沿いにあります。

- 受付時間 午前8時20分～午前11時00分
- 診療時間 午前8時30分～午後17時15分
- 休診日 土・日・祝祭日・年末年始 ※急患の方は随時受付いたします。
- 電話番号 0993-22-2231

発行：独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター  
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地  
TEL：0993-22-2231 (代表)  
FAX：0993-22-2772 (地域医療連携室)  
URL：https://ibusuki.hosp.go.jp  
印刷：株式会社陽文社

